



名古屋市消防局



藤田医科大学病院



ドクターヘリと消防部隊の連携訓練を実施します！

本年2月、愛知県2機目となるドクターヘリが藤田医科大学病院に配備されました。

ドクターヘリは道路状況や地形特性に関わらず運航することができ、救急患者への治療開始時間の短縮、救命率の向上及び予後の改善など、地域における救急医療体制の強化が期待されます。

ドクターヘリの特性を最大限に活かして消防機関と基地病院が救急現場で連携することは、重症者の搬送のみならず、医師をはじめとした医療スタッフの救急現場への迅速な投入による医療の提供や的確なトリアージを基にした医療機関搬送が可能となります。

愛知県内でドクターヘリが2機体制となることで、救急現場でドクターヘリと消防機関が連携活動を行うことができる事案も頻度を増し、さらなる連携強化及び練度の向上が期待されるところです。

【藤田医科大学病院ドクターヘリ】と【名古屋市消防局】が連携した実動連携訓練は今回が**初めての試み**となります。

この訓練を機に、都市部におけるドクターヘリと消防機関の連携活動の在り方を研究し、医療と消防の連携強化を基にした消防救急体制の更なる充実を目指します。

1 日時

令和 6 年 11 月 8 日（金） 9 時 30 分～11 時 00 分

（※小雨決行。ただし、雨天時はヘリが運航できない場合があります。その他、災害の発生等により延期又は中止となる場合があります。）

2 場所

藤田医科大学 総合フジタグラウンド（緑区鳴海町大清水 69-387）

3 参加機関

藤田医科大学病院

名古屋市消防局

大府市消防本部

尾三消防本部

愛知県警察

合計：車両 23 両
ヘリ 2 機



4 訓練内容

イベント会場において発電機にガソリンを給油していたところ爆発が発生し、多数の傷病者が発生した想定で、**【ドクターヘリ】、【消防ヘリ】、【陸上の消防部隊】及び【関係機関】**が連携し、速やかな救助救出活動や傷病者トリアージから早期の治療開始、医療機関搬送につなげる実働訓練を実施します。

5 その他

- (1) 取材される際は、報道用腕章を着用してください。
- (2) 当日は指定したエリアからの取材をお願いします。